

(議長)

会議を再開いたします。

追分観光課所管の予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。

「追分観光課長」

追分観光課長。

(議長)

追分観光課長。

「追分観光課長」(補足説明)

えーそれでは、追分観光課所管の予算につきまして、ご説明をさせていただきます。

予算書につきましては、94ページから99ページの観光費、追分会館管理費、追分振興費、山車会館管理費、それと予算資料の13ページ、225番から242番が追分観光課所管の事業となります。説明につきましては、予算資料の事務事業の一覧で新規事業を中心に説明をさせていただきます。

まず始めに225番、古くて新しいまち江差観光振興事業でございます。予算額は4,500万飛び、1万3千円です。定例会資料11ページの資料11を合わせてご覧下さい。

本事業につきましては、これまで北海道江差観光みらい機構、ぷらっと江差の運営補助金、観光ポータルサイト運用委託等にかかる事業でございますが、資料11の通り、北海道江差観光みらい機構で過去3年間、日本財団の助成金を活用し実施しております、マリニピング事業に対し、新年度は、日本財団からの助成金はありませんが、町としてもめ島周辺の賑わい創出による、観光客集客、体験観光の推進、地域活性に向けた支援として、新たに1千万円計上しております。

次に226番、日本遺産地域活性化事業でございます。予算額は、355万6千円です。定例会資料12ページの資料12をご覧ください。

本事業につきましては、従来の日本遺産関連事業に伴う旅費や、まちづくり協議会に対する負担金その他、新年度におきまして、資料12のとおり日本遺産再認定に伴い、着実な事業推進に向け、地域住民や来訪者にストーリーに触れて頂くため、ご写真などを活用したガイダンス施設を町会所と開陽丸セン、青少年センターに整備する他、町内企業やスポーツ団体と連携したイベントの開催、またガイド研修実施に係る事業費として、新たに140万円計上しております。

尚、当初予算につきましては、本事業分で計上しておりますが、今後、文化庁の補助金などを活用しながら、日本遺産を中核とした町づくりと推進に向け、取り組んで参りたいと考えております。

えー次に飛びまして、ナンバー２３５、かもめ島まつり開催補助でございます。

令和４年、令和５年と２年間、かもめ島まつりを土曜日の夜に花火大会を実施し、町民や来場者から好評を得ております。江差三大祭りの幕開けとなります、かもめ島まつりの風物詩として、今年も花火大会開催に伴う支援として、１５０万円計上しております。

次に２３６番、旧町営レストラン屋根塗装改修工事でございます。予算額は２１４万４千円です。定例会資料１３ページの資料１３をお開き願います。

経年劣化により屋根塗装が剥離している状況のため、塗装改修工事を行うものでございます。

えー次に２３７番、追分会館屋根塗装改修工事でございます。予算額は、１８９万６千円です。定例会資料１４ページ、資料１４をお開き願います。

旧町営レストラン同様、経年劣化により屋根塗装の剥離やジョイント部分が劣化し、えー雨漏りが発生している状況もあり、塗装改修工事を行うものでございます。

次に２３８番、追分会館管理でございます。予算額は３，８３３万８千円です。

主に、指定管理にかかる経費となりますが、指定管理費が物価高騰や労務単価の増加に伴い音響照明等の委託料が増額となっております。

尚、現在の指定管理が令和５年までとなっていることから、令和６年度からの指定管理の公募を実施させていただきました。このあと議案第３２号におきまして、指定管理者の指定について、議決をお願いしておりますので宜しくお願い致します。

また、追分会館で４月から１０月に行っております江差追分の定時実演につきまして、三味線伴奏者の確保が難しい状況のため、実演スタイルを全国大会同様の歌い手、尺八、添え掛けによる手法としまして、希望に応じ体験を交えながら実施して参りたいと思っております。

次に２３９番、江差追分会運営補助でございます。予算額は１，５１３万３千です。令和６年度は例年同様の運営費の他、執行方針にもありますように、第６０回記念江差追分全国大会開催に対し、町としても次世代にしっかりと継承できるよう支援をして参ります。

以上、予算説明とさせていただきます。

えー続きまして、定例会議案書１４７ページ、議案第３２号、指定管理者の指定について、でございます。

定例会資料１３１ページ、資料３５を合わせてご覧下さい。

えー先程、予算の際にもご説明をさせていただきましたが、江差追分会館、江差山車会館の管理につきまして、令和５年度をもって、現在の指定管理期間が終了となる事から、公募を行ったところ１社からの応募があり、選定委員会にて審議した結果、有限会社HKサービスに決定したことから、議会の議決を求めるものでございます。

指定期間は、令和６年４月１日から令和１１年３月３１日までの５年間となります。

尚、現在の指定管理者から新たな指定管理者となりますが、代表者は現指定管理者と同様の代表者であり、職員も現スタッフを配置するということになっておりますから、経験・知識・ノウハウを含め、安定した管理運営が期待出来るものであります。

以上、追分観光課所管の説明を終わらせていただきます。

ご審議の上、議決して頂きますよう宜しくお願い致します。

(議長)

以上で補足説明が終わりましたので、質疑を許します。

(「なし」「はい」の声、多数)

(議長)

室井議員。

「室井議員」

すいません。あの一ポイントですね、あの一質問さして貰います。

あの一、まあ、観光みらい機構、私あの一、今回、資料要求しました。

それで資料を見たら、えっと、資料を見たほかにですね、去年の決算委員会で、私、この事についてですね、質疑しております。

えっと、要求した資料の内容を見るとですね、令和元年から4年度までの間に、4カ年間で町の補助金、1億飛んで800万、支出しております。1億飛んで800万です。

で、あの一事業のね成果、どうだこうだという事を私は問いませんが、えーと、私達に聞こえて来るのはですね、あの一人的な、ね、本当に困ってるっていうのは、話はですね、役場からでないです。ね、役場からじゃないところから、聞こえてきております。でも、私はですね、そういう個別のね、事について問う事はしません。

要は、町長が当初考えてたね、ね、この機構に関してですよ、観光振興図るっていうの、ちょっと乖離して来てるんじゃないかなあと私は思うのであります。

今後、ね、どういう機会で、どういう方向に持っていくかということを、やっぱり真剣に議論して、その時期をね、今直ぐどうこうじゃなくても、ちゃんと検討して行こうと、私は必要があると思いますので、これは副町長だな、答弁は。課長で無いな。

副町長の方から、ちょっと方針を伺いたいと思います。よろしくお願いします。

(議長)

副町長。

「副町長」

はい。えーと、室井議員の方から、まあ、えー、少し、まあ想定も入るんですけども、人的な部分含めて、まあ体制のこの話やら、まあトータルのことです。

まずもって、このみらい機構、おーまあ、みらい機構の事務、そしてぷらっと江差が正しく稼ぐ場所であるし、それから、えーマリピンングは、かもめ島一体の言わば体験観光の場所にもなるという、こう言うまあ3つの事業をやっているわけですけども、おー、まあ一言で言うならば、若干、体制の部分で色々と、まあ病気、欠勤等もあったりして、少

し我々も、まあ色んなところでアンテナを張って、やっている所なんですけど、まあ少し、少し、まあ立て直さなきゃないなというところからまず、今考えている所です。

あの一、ズルズルとした状況では当然ございませんので、それから、まー、ぷらっとにちょっと話を戻りますと、如何に、まあ、あすこで稼ぐかということが、主流でございますので、そこへの経営感覚を持った人的な事も含めて、それから商品の関係も含めて、トータルとして、ま、もう来月、新年度に入りますけども、早々に、機構のスタッフ含めて、あ、すみません、あの今月末まで実は、町長と担当課長含めて、機構のスタッフ等、トータルの色々会議というか意見交換を持つ場も、初めて持つことにしました。

そういった所で、皆さんもまあ、描いているっていうか、町長自身も描いている部分も含めて、スタッフ全員に浸透させながら、あの、新年度スタート切れるように頑張っていきたいと、この様に思ってます。よろしくお願いします。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

副町長。あの一、そういうね、あの、腹割った話、ね、今までね、無いような副町長の答弁でしたよ。そういう話してくれると我々もね、ね、陰口言って批判するのは簡単なんだよ。こっちの方とは、自分で汗かいて見なければ分からない事業なんだよ、こういう事っていうのは。それを、そこから、ね、悪い部分も、いい部分も、学び取るんだ。

だから今言ったように、現場と、ね、そういう話あったら直ぐ、ね、胸を貸してやる。会話をね、そういう事をきちっとですね、して貰いたいという事を私は願っております。

町長、よろしいですね。副町長と同じ考えですね。

よーし、いい。と言いましたので、これで私は終わります。

「増永議員」

はい。

(議長)

増永議員。

「増永議員」

えーすみません、私の方から2点お願いします。

えーまず1点は、先程、課長さんのご説明で、三味線奏者がいない、演奏者がいないという話だったんですけども、うー、いないって言うだけじゃなくって、育ててこれからのような形で、増やしていくかっていう方針、があれば、あーちょっと聞きたいなというのが1つ。

もう1つ。えーと、マリンピングの1千万のお話なんですけども、実はですね。

ここにですね、えっと、令和4年度江差観光コンベンション協会総会議案書というのがあります。

こちらホテルで、えー4月の28日に行われました。で、この際に、私が質問したんですけども、あの一、ま、日本財団さんから、ま、2千万、2千万という、まあ高額な補助金を頂いて、運営してますということで、ご説明を受けた際に、私が質問したのは、その時に、じゃあ何時まで、こういう形の補助金を受けて、やってくんですかと。という私質問しました。

その際に、えー、みらい機構の担当者だと思うんですけども、令和6年度から補助金無しで黒字でやりますってご回答いただいたんですけども、その言葉ってのは、嘘だったんでしょうか？すいません。お願い致します。

「追分観光課長」

追分観光課長。

(議長)

追分観光課長。

「追分観光課長」

まず、増永議員の1点目、あの三味線伴奏者の今後の、まあ育成方針という部分でございます。

なかなかあの一、歌い手も含めてですが、伴奏者の育成ということも含めて大変な部分ではあるんですが、現段階で、追分会と、追分会の方ではですね、あの一、年2回、研修会も開始しながらですね、育成に努めているということでございますので、引き続き町内にも三味線愛好の団体もございますので、そういう場を通じながらですね、育成に繋げていきたいという風にまず思っております。

それとあの一マリンピング、あの一その一、観光コンベンション協会の総会の際の、その一令和6年度から黒字といった部分です。

私も観光協会の事務局長で、その席におりましたので、えー、ちょっとその黒字と言った部分につきましては、その時の部分、私ちょっと覚えておりませんけども、あの一先程言いましたように、助成金に関しては、この令和5年度で終了となります。

そういった中で目標を持ちながら、えー今度は自走化に向けてという部分だったんですが、昨年、えー日本財団の助成金を頂きながら、もう一棟マリンピングを増やしながらですね、初めて令和6年度からフル稼働していくといった中でですね、えー昨年の売り上げ状況を見ても初めてのフル稼働という事もございまして、中々その一、運営の、その収入見込みというのも立てづらいものもあるもんですから、まずはただしっかりと、この間に日本財団から助成金を頂いて、整備してきましたので、あそこは、かもめ島は、あの、町のシンボルでもあります。

えー歴史だとか文化、それと新たなマリンピングといったコンテンツでですね、えー人

を呼び込む、その集客に向けて、町としても今回、支援をしていきたいということで、計上させて頂いておりますので、ご理解頂ければというふうに思っております。

「増永議員」

はい。

(議長)

増永議員。

「増永議員」

いや、ですから、この時に、僕が質問したのは、いつまで、ま、日本財団含めて補助金を頂くんですか、という質問をしたんです。で、その時の回答が、補助金無しで、令和6年度からは黒字になります。

ということは、令和6年から江差町からも出さなくてもいいんじゃないですかと言う、そういう質問なんです。

ですから、それでも出さなきゃならない理由は何なんですか。

という事は、僕が言ったのは、この令和4年4月28日の総会の、あの一、回答というのは、本当にそういう意味で喋ったのか、一時しのぎの回答だったのか、どうだったのかなっていう風に思うんです。

ただ、それは今、グダグダ言っても分からないとは思いますが、ただ、今、今回ここで、1千万計上した、ということは来年もあるんですか。その部分だけ回答お願いします。

「追分観光課長」

追分観光課長。

(議長)

追分観光課長。

「追分観光課長」

えー、まずあの一年来に向けての部分につきましては、今の段階ではなかなか言及する事が難しいというふうに私は思っております。

先程言いましたように、令和5年度でフル装備のまあ、設備を設置して整備しました。

その中で今回、令和6年度、初めてそのフル装備の状態で、稼働させて頂きますので、えーまあ、今言った観光振興にも必要な、あーコンテンツだというふうに認識しておりますので、まずは、あの売り上げが伸びていきますように、みらい機構としてもですね、周知を図りながら運営して行きますが、終わった段階の決算状況を見ながらですね、そして

それが、また町として補助が必要かどうかという事はですね、また来年の部分でですね、色々と分析をしながら検討して行ければという風に思っております。

「増永議員」

はい。

（議長）

増永議員。

「増永議員」

という事は、えー、この事業がある限り、江差町は続けて、あの一、まあ、やるやらないは別にして、あの一これを出す意向であるという認識でいいですね、そしたら。

「迫分観光課長」

迫分観光課長。

（議長）

迫分観光課長。

「迫分観光課長」

えー、その間ずっとという事について、今の段階では中々明言は出来ません。

今、先程、同じ繰り返しの答弁になってしまいますが、まずは、フル装備での稼働が今回初めてでございます。

えーコロナも明けました。まずは利用周知に向けてPRして頂きながら、まずは、あの一自走化出来るようにですね、売り上げを伸ばしていく努力はさせていただきますが、結果によるものですから、あー現段階では、あの一この先もずっとという事の答弁はですね、なかなか今の段階では、ちょっと出来ないという事でご理解を頂ければという風に思います。

「増永議員」

はい。わかりました。

（議長）

小梅議員

「小梅議員」

はい。

えーと私も、みらい機構とぷらっとの事で、お聞きしたいと思ったんです。

でも先程の1番目で、室井議員さんの方から質問が出まして、それ答弁聞かしまして、あ、そうなのかと思って、それは一応取り消したいと思います。

えーっと、でも、あの一、私一番先に、んーと、資料見まして、えーと思ったのが、決算、決算実績、決算って書いていながら、収支が0となっているというのは、これはなんだろうと、そこがまず不思議に思ったんですね。

あと、細い数字色々ありますけども、それは言わない事として、あの収支0というのは、どういう事なのか、それをちょっと説明お願いします。

「追分観光課長」

追分観光課長。

(議長)

追分観光課長。

「追分観光課長」

はい。えー今回の資料で提示させて頂いております決算書につきましては、町の補助事業に対する決算書ということでございまして、収支同額という形になっております。

当然、あの会社でございまして、えー会社につきましては、あの複式で、あの貸借対照表、損益で決算をされているものですから、この資料に関しては、町の補助対象事業に対する決算書という事での収支同額という事で、ご理解を頂ければという風に思っております。

(議長)

小梅議員

「小梅議員」

はい。そしたらですね、ここに出ている自己資金とか、なんとか充当金っていうのも、これが合ってるという事でもないんですか。分かんないです。

あとの細いところ、何かいっぱい聞きたかったんですけど、先程の質問聞いて、まあ、後からでもそういう事にします。

それともう1つ。えーと、やっぱりマリリンピングの事ですけども、えーと、令和5年で、5年度に359人で、2千、んーと248万9千円。んーと5年で548人、187万ってなってますけど、人数が増えているのに、金額が少なくなってるのはどういうことなんでしょう。

(議長)

追分観光課長。



「追分観光課長」

はい。えーあの一、人数増えている分に関しましては、令和5年度、あの一、マリnping 1棟の整備とかもさせて頂いておりましたが、えー設置が例えば8月になってたりですね、えー人数増えてるのは、海洋体験といった部分の、あのサップであるとか、そういった事業の件数が増えておまして、宿泊のマリnpingの方につきましてはですね、開始時期等も、ちょっと遅れた関係がありまして、あの一全体の利用者数は増えているんですが、収入に関しては、今言ったように、あの海洋体験の方の分が多かったものですから、前年対比で減少になっているということでございます。

「小梅議員」

わかりました。

(議長)

他に質疑希望ありませんので、追分観光課所管の予算並びに関連議案についての質疑を終わります。

説明員入れ替えのため、暫時休憩いたします。

休憩 13：20